

上越交響楽団

第23回定期演奏会

指揮 服部 隆司

ホルン独奏 関 文雄

リージョンプラザ上越コンサートホール

昭和60年3月24日（日）

午後3時開演

主催 上越市

<プログラム>

500

◆ 序曲 「オルフェウスとエウリディーチェ」

..... グ ル ッ ク

◆ ホルン協奏曲第3番 変ホ長調 K. 447

..... モ ー ツ ァ ル ト

2200

◆ 「ペールギュント」第1組曲 Op. 46

..... グ リ ー ク

3200

◆ スラブ行進曲 Op. 31

..... チ ャ イ コ フ ス キ ー

4050

..... ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

プロフィール <ホルン> 関 文 雄 <指揮> 服 部 隆 司

本日、モーツァルトのホルン協奏曲第3番でホルンを独奏する、関 文雄さんは、高田高校より東京芸術大学に進みホルンを谷中甚作、フーベルト・ブラデル、千葉馨の各氏に師事し、研鑽を重ね、現在上野の森金管合奏団等に所属し、室内楽、オーケストラ等にて活躍されています。上越交響楽団には、創設当初より団員の演奏技術、アンサンブル向上のために、多忙な中、献身的に参加して下さっています。今回のすばらしい演奏をお客様とともに団員一同楽しみにしています。

指揮の服部 隆司さんは、東京芸術大学でチェロを勉強され、現在母校の高田高校にて音楽の先生をされ、機進の指導とともに、室内楽、独奏にても活躍されています。上越交響楽団には、創設当初よりチェロ奏者として参加し、数年前より指揮をお願いしています。